

(様式2(1))

事業所名 グループホーム清華苑

作成日: 令和 7年 5月 15日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |                                     |  |            |
|----------|------|---|-------------------------------------|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標                                  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 6    | 「身体拘束適正化のための指針」と「身体拘束防止委員会」について、整合性を検討することが望ましい。                      | 「身体拘束適正化のための指針」と「身体拘束防止委員会」の整合性をとる。 | 現状に合わせて委員会の実施形式と構成メンバーを修正する。                                     | 6ヶ月        |
| 2        | 7    | フロアミーティングで行われている虐待・不適切ケア防止についての検討を、「高齢者虐待防止委員会」として位置づけて、議事録に明記してはどうか。 | フロアミーティング内で「高齢者虐待防止委員会」を実施する。       | フロアミーティングで行われている虐待・不適切ケア防止についての検討を「高齢者虐待防止委員会」として位置づけ、年2回程度実施する。 | 3ヶ月        |
| 3        |      |   |                                     |  | ヶ月         |
| 4        |      |   |                                     |  | ヶ月         |
| 5        |      |   |                                     |  | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。